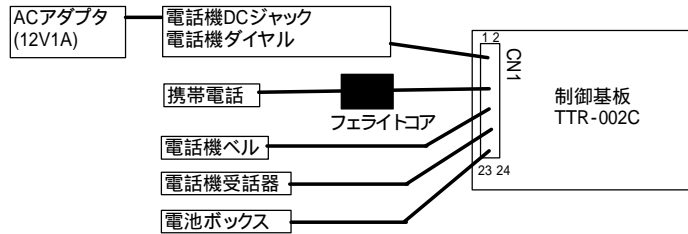


携帯黒電話制御基板 説明書(au)

配線概略図

下図のように配線してください。



TTR-002C CN1 端子配置

GND	1	2	DC入力(+12V)
ダイヤルパルス	3	4	ダイヤルスタート
フックスイッチ	5	6	GND
GND	7	8	空き
RX	9	10	TX
携帯充電	11	12	AGND
携帯送信音声信号	13	14	携帯受信音声信号
BELL1	15	16	BELL0
GND	17	18	GND
受話器スピーカー	19	20	受話器マイク
電池 -	21	22	電池 +
電池温度検出	23	24	電池温度検出
未使用	25	26	未使用
未使用	27	28	未使用

DCジャックへ
電話機へ
携帯電話へ
ベルへ
受話器へ
電池ボックスへ

TTR-002 端子説明

1	GND	DC入力のグラウンドです。
2	DC入力(+12V)	外部電源 (添付のDC12VACアダプタ)
3	ダイヤルパルス	GNDとの間に黒電話のスイッチをつないでください。(ノーマリ・クローズ)
4	ダイヤルスタート	GNDとの間に黒電話のスイッチをつないでください。(ノーマリ・オープン)
5	フックスイッチ	GNDとの間に黒電話のスイッチをつないでください。(ノーマリ・クローズ)
6	GND	黒電話用グラウンドです。
7	GND	携帯電話シリアル信号用グラウンドです。
8	空き	
9	RX	シリアル信号 携帯 TTR-002
10	TX	シリアル信号 TTR-002 携帯
11	携帯充電	携帯電話の充電端子へつないでください。
12	AGND	携帯電話の音声信号用グラウンドです。
13	携帯送信音声信号	音声信号 TTR-002 携帯
14	携帯受信音声信号	音声信号 携帯 TTR-002
15	BELL1	ベルへつないでください。
16	BELL0	ベルへつないでください。
17	GND	受話器グラウンド(スピーカー)
18	GND	受話器グラウンド(マイク)
19	受話器スピーカー	受話器のスピーカーにつないでください。
20	受話器マイク	受話器のマイクにつないでください。
21	電池 -	電池ボックスの - 端子につないでください。
22	電池 +	電池ボックスの + 端子につないでください。
23	電池温度検出	電池ボックスの温度検出端子につないでください。(極性なし)
24	電池温度検出	電池ボックスの温度検出端子につないでください。(極性なし)

電話機のダイヤルの配線 (参考):

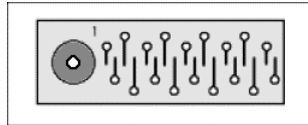
全ての電話機が同じかどうか分からないので、念のため、テスター等で確認してください。

600式:
実線 :ダイヤルパルス
点線 :ダイヤルスタート
無印 :グラウンド

601式
実線 :ダイヤルパルス
点線 :スタートパルス
無印 :グラウンド

4号
白 :ダイヤルパルス
緑 :ダイヤルスタート
青 :グラウンド

携帯コネクタの配線(au)



信号名	TTR-002接続先信号名
1 シリアル信号GND	AGNDへ
2 送信音声信号	送信音声信号へ
3	
4 受信音声信号	受信音声信号へ
5	
6	
7	
8 制御信号 1	グラウンド(携帯コネクタの18番ピン)へ
9	
10	
11 通信シリアルデータ(RXD)	TXへ
12	
13 通信シリアルデータ(TXD)	RXへ
14	
15 充電回路 +	携帯充電へ
16	
17	
18 グラウンド	GNDへ (ケーブルのシールド)

工作のヒント:

- * ピンヘッダーへのはんだ付け時に熱でプラスチックが溶けてピンがゆがむことがあるので、ピンソケットに差した状態ではんだ付けすると良いです。
- * ピンヘッダーは、図の配線先ごとに、2,4,6,8ピンごとに切断して使用すると良いです。

注意事項:

- * BELL0,BELL1 (出荷時、白の印をつけてあります)は、ベルを鳴らす際に高電圧(70V)になります。**絶対に、隣のピンに接触しないようにしてください。携帯電話を壊す可能性があります。**
- * 電池ボックスと温度センサは4ピンコネクタ配線済みのものを添付していますが、差し込む向きを間違えやすいので注意してください。(赤が電池+, 黒が電池- です)。
- * 電池ボックスは電池と温度センサが接触するように組み立ててあります。何らかの理由で分解する場合、温度センサは必ず電池に接触するようにしてください。
- * 高温・高電圧になる箇所がありますので、通電中は回路に触らないように注意してください。